

メディカルフォトニクス研究センター
基盤光医学研究部門
光イメージング研究室

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	2 人	
大学院学生（うち他講座から）	1 人	(1 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	6 人	

2 教員の異動状況

矢尾 育子（准教授）（H25.7.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	2 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	7.67	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	3 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	3.58	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
1. Okada M, Corzo G, Romero-Perez GA, Coronas F, Matsuda H, Possani LD: A pore forming peptide from spider *Lachesana* sp. venom induced neuronal depolarization and pain, *Biochim Biophys Acta*. 1850: 657-666, 2015 [2.59]
 2. Yuki D, Sugiura Y, Zaima N, Akatsu H, Takei S, Yao I, Maesako M, Kinoshita A, Yamamoto T, Kon R, Sugiyama K, Setou M: DHA-PC and PSD-95 decrease after loss of synaptophysin and before neuronal loss in patients with Alzheimer's disease. *Sci Rep*, 2014 [5.08]
インパクトファクターの小計 [7.67]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 武井史郎, 矢尾育子: 質量分析イメージングの最新動向 - 質量顕微鏡法について, *インナービジョン* 29,, 53-57, 2014 [0]
 2. Romero GA, Takei S, Yao I: Imaging Mass Spectrometric Analysis of Neurotransmitters: A Review, *Mass Spectrometry (Tokyo)* 3 S0049, 2014 [0]
インパクトファクターの小計 [0]
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
1. Setou M, Yao I: Alisa G. Woods and Costel C. Darie (Eds.): Advancements of mass spectrometry in biomedical research, *Anal Bioanal Chem*, 407, 1283-84, 2015 [3.58]
インパクトファクターの小計 [3.58]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Yao I, Romero GA, Nicolaescu D, Setou M. (T Yokomizo ed) :Lipid machinery investigation using MALDI imaging mass spectrometry, *Bioactive Lipid Mediators: Current Reviews and Protocols*: Springer Japan, 2015
 2. 矢尾育子 (高橋良輔, 漆谷真, 山中宏二, 樋口真人編): 質量分析イメージングによる脳内環境の可視化, *遺伝子医学 MOOK* 26 号, 2014

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(83 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	2 件	(1,300 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 矢尾育子（代表者）、基盤研究(C)、ユビキチンリガーゼ SCRAPPER が調節するシナプス蛋白質の超解像イメージング、80 万円
2. 矢尾育子（分担）、挑戦的萌芽研究、ステロイドホルモンの質量分析イメージングによる組織細胞上の直接可視化法の開発、3 万円

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

1. 矢尾育子（分担）、JST 戦略的創造研究推進事業 ERATO（佐藤ライブ予測制御プロジェクト）、生体内における代謝動態の計測分析、1,000 万円
2. 企業 1 件、300 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	2 件	3 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件

(5) 学会役員等回数	1 件	3 件
(6) 一般演題発表数	1 件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

1. Yao I, Mass spectrometry application for tissue imaging, The Conference on Bioactive Peptides for Cell-Cell Communication 2014 - The 30th Anniversary of ANP (Atrial Natriuretic Peptide) Discovery, Kyoto (JAP), Sep 2014

2. Yao I, Imaging mass spectrometry of acetylcholine for the nerve tissue sections, The 14th Kyungpook-Hamamatsu Joint Medical Symposium Hamamatsu Meeting, Sep 2014, Hamamatsu (JAP)

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

4) 国際学会・会議等での座長

5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Matsuda T, Shibahara M, Yao I, Hisatsune T, A type of cholinergic dysfunction involves cognitive deficit in a mouse model of Type 2 Diabetes Mellitus/Alzheimer's disease, AAIC 2014, Jul 2014, Copenhagen (DNK)

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 矢尾育子, 脳内物質を対象とした質量分析イメージングの取り組みとその課題について, 第 28 回日本医用マススペクトル学会東海支部講演会, 2014

2. 矢尾育子, 臨床化学への応用に向けたイメージング質量分析の取り組み, 第 67 回日本臨床化学会近畿支部例会, 2014

3. 矢尾育子, 脳情報の解読に向けた質量分析イメージングの取り組み, 第 62 回質量分析総合討論会, 2014

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

矢尾育子、日本医用マススペクトル学会 評議員

矢尾育子、日本神経科学学会 会員・神経科学教育委員

矢尾育子、日本生化学会 会員・「生化学」誌企画協力委員

矢尾育子、独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術協力推進委員

矢尾育子、独立行政法人科学技術振興機構 ダイバーシティアドバイザー委員

矢尾育子、東京医科歯科大学医歯学研究支援センター共用利用促進運営委員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	3件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. 矢尾育子、Anal.Bioanal Chem (Germany) 1回
2. 矢尾育子、Proteomics (Germany) 1回
3. ロメロ グスタボ、Journal of Animal Science (USA) 1回

9 共同研究の実施状況

	平成26年度
(1) 国際共同研究	2件
(2) 国内共同研究	8件
(3) 学内共同研究	2件

10 産学共同研究

	平成26年度
産学共同研究	3件

1. 矢尾育子、企業 3件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

15 新聞、雑誌等による報道